

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>伝道弟子伝道弟子の疎通-黄金漁場と弟子(マタイ 16:13-20)</p> <p>* 序論 ▲伝道弟子の疎通はどのようなものなのか。伝道弟子の疎通は常にマタイ 16:13-20 節でなければならぬ。 (1)黄金漁場 黄金漁場を見るのではない。 (2)弟子 弟子を見るのではない。一番最初に見なければならぬ部分が見えた。涙の疎通だ。パウロが言うのに、私が君の涙を知っていると(Ⅱテモテ 1:4-5)。これが通じなければならぬ。私たちはみな笑いが好きだ。そして、みな笑えと言う。笑いは私たちに少しの間だけ楽しいことであって、私の生涯は涙のある所にかける。私が余裕がある時は笑うところにお金を使うが、私が本当にのちをかける時は、涙がある所にお金を使う。重職者が涙を見るようにさせなさい。伝道弟子に一番必要なことがこれだ。伝道弟子は常にすばらしい疎通が何か。</p> <p>14つ目の信仰の姿を捨てる疎通 (1)エリアスタイルを捨てるべきだ。 (2)エレミヤ (3)バプテスマのヨハネ ▲この四つだけ抜け出せば大きなみわがが本当に始まる。何か「私」が見えて「キリスト」の疎通が出来なければ、人々がねたんで嫌う。私が本当にキリストで通じるならば、神様の働きが起きるほど申し訳ない。</p> <p>2信仰告白に関する疎通 ▲「あなたは生ける神の御子キリストです」 (1)旧約に預言されたことの成就に対する疎通(創世記 3:15、出 3:18、イザヤ 7:14) (2)それでキリストを知って、味わって、多くの人の前に現わさなければならぬ。 (3)ピリピ 3:1-20 節で疎通になるのだ。その時から、ピリピ 3:21 節に万物を服従するほどの、その御名の働きを見るようになるのだ。</p> <p>33つ祝福が常に疎通 (1)わたしがこの岩の上にわたしの教会をたてる。 (2)ハデスの権威が絶対にあなたに勝つことができない。 (3)わたしはあなたに鍵を与えます。</p> <p>4私を隠す疎通(マタイ 16:20) ▲この時からは祝福がどんどんあふれ始める。私を隠す疎通が重要だ。 (1)体質-私たちはしばしば体質のとおり行く。 (2)利益-利益、損害の前で想像以上に行動する。 (3)地位-想像以上に、地位に深く心が傾いている。</p> <p>* 結論 私たちがあかしと手助けすることがあるならば (1)キリストで答えが出た日、私はすべての問題を終わらせた。 ▲キリストすべての問題の解決者、王、預言者、祭司。すべてのサタンと災いとどのろいとの権威を滅ぼされた。一番最初にくるのがすべての教役者、すべての長老、すべての教会信徒がみな門に見えるようになった。 (2)キリストが持続して-理由がなくなった。 (3)キリスト-証拠 ▲それでは私がすることが一つしかない。あの人たちが死にかかっているから、キリストをあかししなければならぬ!! ▲これが伝道弟子の疎通だ。黄金漁場を見る涙があるようになることをイエスの御名で祈ります。</p> | <p>70人重職者の疎通 喜び(使徒 1:14)</p> <p>* 序論 ▲現場を見るには、単なる涙でない涙の疎通だ。それになれば二番目になることがある。それは涙でない喜びの疎通だ。初代教会は喜びの疎通がもつてきた。今でも本当に弟子を見れば同じ喜びが生まれる。 13つを知って疎通しなければならぬ。 (1)結論(使徒 1:1)-結論を知っていなければならぬ。使徒 21 節の聖霊の働きが促される。 (2)結果(使徒 1:8)-そして、結果を知っている疎通だ。使徒 1:8、だれがなんとと言っても、地の果てまで世界福音化されると言われた。ここに神様が働かれる。 (3)方法(使徒 1:3)-結論と結果を知っている人に方法が出てくる。神の国だ。 2使徒 1:14、オールイン(All in)する人々の疎通 (1)問題-生活、経済、死 ▲聖霊の満たし、導きでなくては絶対に行けない。ところで、行くかやめるかではなく、オールインしてしまった。 (2)成就-ですから、すばらしいことを成就させたのだ。 1)三つの祭り-使徒 21 節は三つの祭りを成就させたのだ。 2)幕屋-幕屋教会)に関する正しい成就だ。 (3)聖霊の満たし-神様はここに聖霊の満たしの働きを注いでくださった。最高の答えだ。 3答え (1)使徒 29-11、15ヶ国の大きい答えの門が開いた。 (2)使徒 24:1-42、3千人の弟子がさっと起きたが、ここを見る重職者の疎通が促されたのだ。 (3)使徒 24:3-47、いよいよ一番難しいこと、自分の財産を出しておき始めた。オールインした。 1)これが基盤となって、ユダヤ全体を掌握 2)ローマ 16 章の祝福を神様が注ぎ込まれた。 3)250年間完ぺきにローマを福音化 * 結論-初代教会の重職者の喜びの疎通 (1)本物の喜びだ。 1)キリストが復活して目に見えないように今でも御座で答え、祝福しておられる。 2)実際に聖霊が来られて働いておられる。聖霊が働く所ごとに御座の祝福が臨んで、主の御使いを送って働きを成し遂げられる。 3)世の中で私たちがサタンを縛って勝利するものすごい力を与えられた。 (2)持った者の喜び 1)虚像でない実像を持った。 2)御座-本当に答えは上からくる。 3)すべてのものはキリストの中にある。 (3)伝える者の喜び 1)使徒 8:26、29、使徒 9:10、神様が完ぺきに作業 2)使徒 13:48 3)ローマ 16:25-27、世々に渡って長い間、隠されていたが、いまや現されたこと。 ▲これが通じる一つのチーム、一つの場所だけあってもかまわない。ここに必ず聖霊が働かれるようになっている。そうすれば、必ず通じる人が出てくるようになっている。これを伝道と言う。そして通じる一つの家が出てくる。それを宣教と言う。 ▲そうすれば、神様は重職者にまず最初に健康の祝福をくださった。経済の門を開けてくださり、戦うこともしなかったのに最上にあけてくださる。</p> | <p>ミッションホーム-ミッションホームの疎通-感謝</p> <p>* 序論-感謝 ▲ミッションホームに集まる人々は、すばらしい感謝の疎通があった。みなさんがミッションホームにきたとき、一番大きい疎通が何か。折りひとつを正しく教えれば良い。ミッションホームにきたとき、内容はミッションホーム全体で何をしているのか、みなさんの教会が何をしているのか疎通にならない。そうすれば、みなさんが現場に出て行かなければならぬのに、現場に出て行って何をすべきなのかが、すべてミッションホームで疎通にならない。ミッションホームが絶好の機会だ。初代教会が世界を征服した方法がミッションホームだった。 1.祈りを通してキリストの力が何か通じなければならぬ。 (1)マタイ 16:16、この告白が本当に通じれば、その次に答えがくる。 (2)マタイ 28:16-20、復活された主が今でも私とともにおられることを知るようになる。 (3)使徒 1:1-8、必ずこの答えがくるようになっている。 (4)使徒 1:14、この答えを受けた人は、みなさんの家がミッションホームになるようになっている。 (5)使徒 2:1-13 節の答えがくるようになっている。 ▲祈りを通して、これを味わうようにしてあげなさい。 2.祈りを通して、現場の働きを分るようさせなければならぬ。 (1)使徒 3:1-12、前はまったく見えなかった現場が見えるようになる。 (2)使徒 4:1-12、迫害がくるが恐ろしくない。 (3)使徒 9:1-43、すべての現場に重職者とレムナントを通して神様の力が見えるようになり始める。 (4)使徒 10:1-6、そのようなことがずっと起きる。 3.時代を見る働き (1)使徒 12:1-25 1)大きい危機がきたように見えるが、大したことはない。 2)このとき、マルコの家のミッションホームで祈っていたが神様の奇跡が起こった。 3)主の御使いが打ったのでヘロデが虫にかまれて死ぬのだ。 (2)使徒 13:1-4、時代を見る目がなければならぬ。これが祈りだ。 (3)使徒 16:6-10、門が開ざされたように見えるが、これがみな祈りだ。 (4)使徒 19:21、ローマも見なければならぬ。 (5)ローマ 15:28、イスパニヤにも行かなければならぬ。 * 結論-どんな結論を持って行くべきなのか。 (1)教役者を生かす両腕、両足にならない。祈りの祝福と力を持っていなければならぬ。祈りは単なることではなく、霊的祝福を正しく味わうのだ。 (2)このミッションホームの方法がマケドニア征服の方法だった。ローマ征服方法だった。 (3)21世紀の征服方法もこの方法だ。 ▲みなさんが今から3つの祈りはするべきだ。 (1)一人-一人でいるとき、最高に力を受けるべきだ。 (2)一人-一人の中で神様と通じる霊的疎通を見なければならぬ。これが祈りだ。 (3)世の中(環境)-世の中の環境の中で神様と通じる霊的疎通を見るのが祈りだ。 ▲これをミッションホームで必須で教えなさい。</p> | <p>専門の働き-専門の働きの疎通-献身(Ⅲヨハネ 1:2)</p> <p>* 序論 ▲私たちはどんな疎通になるべきか。献身の疎通だ。専門の働きの必須条件だ。Ⅲヨハネ 1:2 節だ。 1.先に疎通することがある。 (1)先に見る必要がある。(2)先に味わうことがある。 (3)先にすることがある。 ▲Ⅲヨハネ 1:2 節だ。愛する者よ、あなたのたましいが幸いを得ているように、先に見なければならぬ部分だ。すべてのことに幸いを得て、先に味わうのだ。健康になることを私が祈ります。これは多くの人を生かさなければならぬから、これは肉対話だけを話すのではない。健康であることを私が祈ります。 2.メッセージ、戦略、行政、進行-疎通 ▲2012年もタラツパンにも重要な行政方向だ。一番上手にしなければならぬ専門の働きのメッセージを疎通させるのだ。戦略、行政図、私たちが進行することまでも疎通させるのだ。 (1)パウロの書簡 14 巻、ペテロ書簡 2 巻、ヨハネの書簡 5 巻、これがすべて4種類メッセージ、戦略、行政、進行を伝達するのだ。 (2)この疎通が上手な人がテキコ、テモテ、テス、エバフラス、シラス、ルカ。これがすべてだ。 (3)レムナント、重職者、宣教 ▲私たちのタラツパンでレムナントは未来だ。重職者は現在だ。特に宣教の部分は、今日、未来みな含まれている。それで必ずすべきだ。すべてのレムナントにメッセージを送ってあげなさい。すべてのレムナントにミッションを送りなさい。自分たちどうし起きられるチームをつくってあげなさい。すべてのレムナントが神様の働きを見るようにさせてやりなさい。すべての重職者に神様が願われる現場を知らせなさい。すべての重職者にメッセージを与えなさい。特に未来と今日を含んでいるのが宣教だ。キャンプに行くとき、単に行かずに、すべてのキャンプ現場に私たちがすることをあらかじめ知らせ、彼らのジレンマを知らせて、宣教師の状況を参考にしなければならぬ。これが疎通だ。牧会も疎通だ。天と地の疎通で、人との疎通で、現場との疎通だ。 3.ローマ 16:23 ▲そして最後の疎通現場を見なさい。ローマ 16:23、ガイオ、財務官エラスト、兄弟クワトロ。 (1)社会的企業-将来、すべての専門家、重職者を通して社会的企業 (2)文化的企業 (3)宣教的企業が出てくるほど、答えを受けなければならぬ。 ▲とても簡単なのはレムナントが起きれば良い。 * 結論 (1)教会が起きて、すべての教会の信徒が疎通祈りを始めたので、神様が出エジプトの奇跡を起こされた。行って総督に、祭司長に、行って民に話しなさい。 (2)そうするから、Ⅲヨハネ 2:1-9 節を見ると、空、地、海、国々が揺れ動くことが起きた。 (3)使徒 2:1-13、初代教会が全世界を変える事が促された。 ▲今日のメッセージ-黄金漁場を見る目、黄金漁場と弟子が通じる涙、重職者は正しく見る喜びの疎通、ミッションホームでは感謝を見る疎通、専門の働き人は献身の疎通、これだけ見れば無条件に生かされる。</p> |
|---|---|---|---|